



デバイスライブラリのバックアップ操作ガイド



本書について

本書は、rekordbox・デバイスライブラリのバックアップについて説明しています。「rekordbox イントロダクション」および「操作説明書」もあわせてお読みください。

rekordbox.com/ja/download/#manual

- 本書では、rekordbox画面内に表示されているボタン名やメニュー名などを、[]で囲んで記載しています。
(例：[デバイスヘリストア]、[デバイスライブラリの管理]画面)
- 本書で説明している手順については、OSのバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますが、ご了承ください。
- 本書で説明しているrekordboxの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合がありますが、ご了承ください。
- rekordboxの仕様、デザイン等は改良のため予告なく変更することがあり、本書の説明と異なる場合があります。

目次

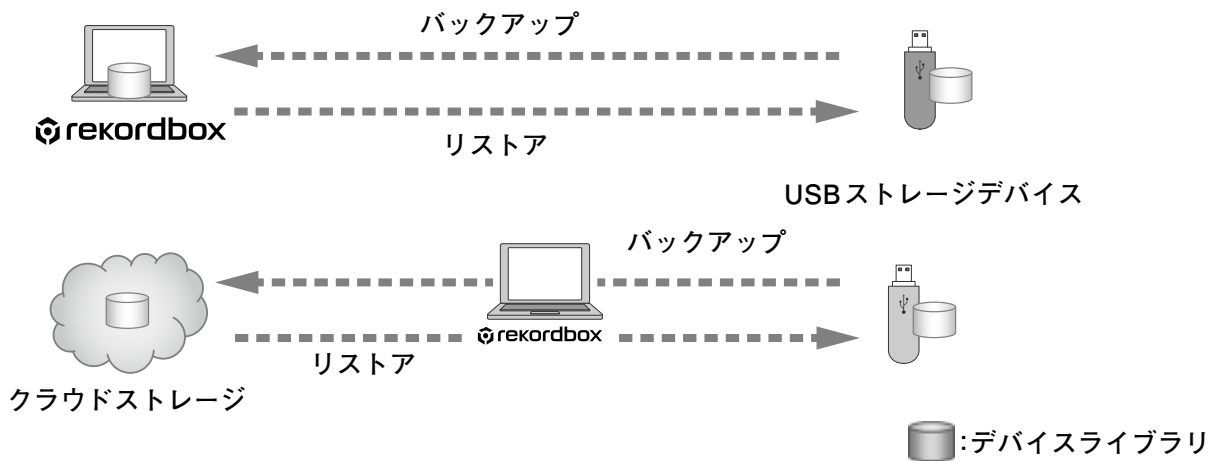
本書について	2
はじめに	4
デバイスライブラリのバックアップについて	4
デバイスライブラリのバックアップ	6
デバイスライブラリのバックアップの種類	6
デバイスライブラリを自動でバックアップする	7
デバイスライブラリを手動でバックアップする	8
デバイスライブラリのバックアップ先を設定する	9
デバイスライブラリのリストア	10
デバイスライブラリをリストア（復元）する	10
デバイスライブラリの削除	11
バックアップされたデバイスライブラリを削除する	11
その他	12
こんなときは	12
動作環境	13
著作権についてのご注意	13
商標、ライセンス文	13

はじめに

デバイスライブラリのバックアップについて

楽曲ファイルをUSB ストレージデバイスにエクスポートすると、楽曲ファイルを解析して得たBPM、キー、波形などの結果や、お客様がセットしたキュー、ループなどの情報をまとめた管理情報も同時にエクスポートされます。この管理情報のことを“デバイスライブラリ”と呼びます。

USBストレージデバイスを壊してしまったり紛失してしまったりすると、このデバイスライブラリが失われてしまう可能性があります。デバイスライブラリのバックアップを使用すると、PC/Mac内またはクラウドストレージ（Dropbox）にデバイスライブラリをバックアップして、USBストレージデバイスの破損・紛失等が発生してもそのバックアップからデバイスライブラリをリストア（復元）することができます。



- クラウドストレージにバックアップするためには、[MY PAGE] ウィンドウで Cloud Library Sync をオンにして、クラウドストレージにログインしておいてください。
- デバイスライブラリのバックアップは、rekordboxの全てのモード（EXPORT モード、PERFORMANCE モード、LIGHTING モード、EDIT モード）に対応しています。

rekordbox のバージョン

デバイスライブラリのバックアップはrekordbox ver.6.5.3以降に搭載されています。これより前のバージョンをお使いの場合は、別途最新のバージョンをインストールしてください。

■ サブスクリプション（Professionalプランへのアップグレード）

デバイスライブラリのバックアップはサブスクリプションのProfessionalプランでご利用いただけます。

Freeプラン・Coreプラン・Creativeプランのお客様はProfessionalプランへのアップグレードをお願いいたします。

rekordbox.com/ja/plan/

またクラウドストレージにバックアップするためには、Dropboxの個人向けアカウントを作成してください。

rekordbox.com/ja/cloud-unlimited-setup-guide/

■ 対応OS

デバイスライブラリのバックアップは、macOS、WindowsのOSに対応しています。

それぞれの対応OSのバージョンについては、下記rekordboxサイトの動作環境をご覧ください。

rekordbox.com/ja/download/#system

デバイスライブラリのバックアップ

USB ストレージデバイスにエクスポートされた楽曲データの管理情報（デバイスライブラリ）を PC/Mac 内またはクラウドストレージにバックアップします。

ご注意

- USB ストレージデバイスごとに最新のデバイスライブラリのみバックアップされ、古いバックアップは削除されます。
- 楽曲ファイルはバックアップされません。リストア時に PC/Mac 内またはクラウドストレージにある同じ楽曲ファイルをコピーして復元します。楽曲ファイルを削除したり他の PC/Mac に移動した場合、復元できなくなります。
- クラウドストレージへバックアップする場合は、バックアップを実行した PC/Mac ごとに保存されます。
- バックアップには時間がかかることがあります。バックアップが終了するまで、USB ストレージデバイスを外さないでください。
- FAT32 でフォーマットされたドライブには、4GB 以上のバックアップファイルを作成できません。4GB 以上のバックアップファイルを作成する場合は、HFS+ などフォーマットされたドライブをご使用ください。
- サブスクリプション・Professional プランを解約しても、バックアップしたデバイスライブラリは削除されずに残ります。
- USB ストレージデバイスの空き容量が無いと、書き込みができないためバックアップを行うことができません。不要なファイルを削除して空き容量を確保してから再度実行してください。

デバイスライブラリのバックアップの種類

デバイスライブラリのバックアップには、USB ストレージデバイスを PC/Mac から取り外すときに自動的に実行される自動バックアップと、お好みのタイミングで実行できる手動バックアップの2種類があります。自動バックアップは、USB ストレージデバイスごとに有効・無効を設定することができます。手動バックアップは、全ての USB ストレージデバイスに対して実行できます。

デバイスライブラリのバックアップ

デバイスライブラリを自動でバックアップする

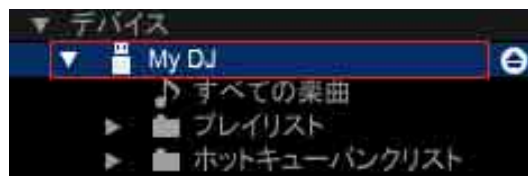
USBストレージデバイスをPC/Macから取り外す時に、自動でバックアップを行います。

USBストレージデバイスごとに有効・無効を設定することができます。接続したことがないUSBストレージデバイスをはじめて接続するときに表示される画面で、[はい]または[いいえ]を選んでください。

自動バックアップの設定を変更する

ツリービューの[デバイス]から自動バックアップの設定を変更することができます。

- 1 ツリービューの[デバイス]> デバイス名を選び、右クリックする。



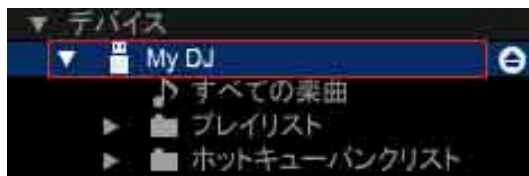
- 2 メニュー画面から[デバイスライブラリのバックアップ]>[デバイス取り外し時に自動でバックアップを行う]を選び、[有効]または[無効]を選ぶ。

デバイスライブラリのバックアップ

デバイスライブラリを手動でバックアップする

好みのタイミングでデバイスライブラリのバックアップを実行できます。

- 1 ツリービューの[デバイス]> デバイス名を選び、右クリックする。



- 2 メニュー画面から[デバイスライブラリのバックアップ]>[今すぐバックアップを行う]を選ぶ。

バックアップが始まります。画面に従ってください。

デバイスライブラリのバックアップ

デバイスライブラリのバックアップ先を設定する

[環境設定] ウィンドウ > [詳細] タブ > [Library Sync] タブの [デバイスライブラリ] でデバイスライブラリのバックアップ先をPC/Macまたはクラウドストレージに設定します。



[バックアップ先をクラウドストレージにする]にチェックを付けると、クラウドストレージにバックアップします。

チェックを外すと、PC/Mac内にバックアップします。

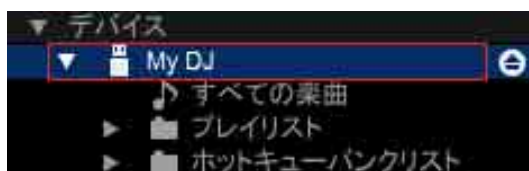
ご注意

- LIGHTING モードでは設定することができません。必ず、EXPORT モード、PERFORMANCE モード、または、EDIT モードで行ってください。
- クラウドストレージへのバックアップを実行するためには、[Show MY PAGE] をクリックして [MY PAGE] ウィンドウを開き Cloud Library Sync をオンにして、クラウドストレージにログインしておいてください。
Cloud Library Sync とクラウドストレージサービスについて詳しくは、「Cloud Library Sync 操作ガイド」をご覧ください。

デバイスライブラリのリストア

デバイスライブラリをリストア（復元）する

- 1 リストア先となるUSBストレージデバイスをPC/Macに接続する。
- 2 ツリービューの[デバイス]> デバイス名を選び、右クリックする。



- 3 メニュー画面から[デバイスライブラリのリストア]を選ぶ。

[デバイスライブラリのリストア]ウィンドウが表示されます。

- 4 リストアしたいデバイスライブラリを1つ選び、[デバイスへリストア]をクリックする。



- 5 [OK]を選ぶ。

リストアが始まります。画面に従ってください。

ご注意

- リストアすると、USBストレージデバイス内の古いデバイスライブラリは上書きされます。
 - リストアには時間がかかることがあります。リストアが終了するまで、USBストレージデバイスを外さないでください。
 - リストアはバックアップを行ったときと同じファイルシステムでフォーマットしたUSBストレージデバイスを使ってください。
- 異なったフォーマットの場合、そのデバイスライブラリを選ぶことはできません。

デバイスライブラリの削除

バックアップされたデバイスライブラリを削除する

- 画面上部の[ファイル]メニュー > [ライブラリ] > [バックアップされたデバイスライブラリの管理]を選ぶ

[デバイスライブラリの管理] ウィンドウが表示されます。

- 削除したいデバイスライブラリを選び、[削除]をクリックする。



- 削除するデバイスライブラリは複数選ぶことができます。
- [全選択] をクリックすると、全てのデバイスライブラリを選ぶことができます。
- [全解除] をクリックすると、選んだデバイスライブラリを全て解除することができます。

- [OK]を選ぶ。

削除が始まります。画面に従ってください。

その他

こんなときは

操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、下記の項目およびrekordboxサイト（rekordbox.com）に掲載されているFAQをご確認ください。
rekordbox.com/ja/support/faq/device-library-backup-6/

■ クラウドストレージの空き容量が足りない。

- お客様ご自身が契約されているクラウドストレージサービスで、ストレージ容量を増やすプランへ契約変更してください。または（楽曲ファイルをアップロードした）rekordbox（Mac/Windows）でその楽曲ファイルをPC/Macのローカルフォルダーに移動してください。

■ PC/MacのHDDやSSDの空き容量が足りない。

- 外付けHDDを増設してDropboxフォルダーの場所を外付けHDDに移動してください。
- 外付けHDDを用意できない場合、Dropbox デスクトップアプリケーションを起動し、基本設定メニューにアクセスし、[同期] > [選択型同期]を開き、Dropboxのrekordboxフォルダー内のいずれかのフォルダーの同期を解除してください。

■ 別のPC/Macからクラウドストレージのバックアップデータが見えない。

- バックアップで使用したPC/MacのDropbox デスクトップアプリケーションで同期が完了しているかを確認してください。

動作環境

rekordboxの最新情報（対応OSや動作環境など）については、rekordboxサイトをご覧ください。

rekordbox.com/ja/download/#system

著作権についてのご注意

rekordboxでは、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約、各国の著作権法ならびに国際条約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

商標、ライセンス文

- rekordbox™は、AlphaTheta株式会社の商標または登録商標です。
 - Dropboxは、Dropbox Inc.の商標または登録商標です。
 - MacおよびmacOSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

© 2021 AlphaTheta株式会社